



# 職場へ、人へ、 しっかりと根付かせています。

全社をあげて環境マネジメントシステムの実践と定着に取り組み、課題やリスクに即応できる体制や人づくりを進めています。

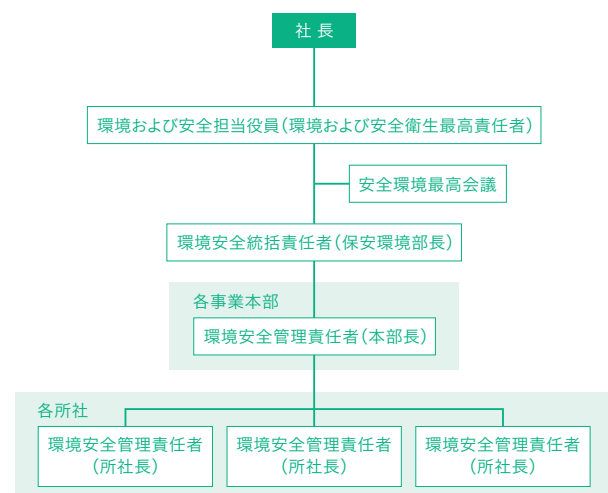
## 環境マネジメントシステムの構築

三井金属グループは、2001年の「環境行動計画」において、ISO14001の認証取得もしくはこれに準拠した環境管理体制の整備を表明。2007年3月、予定していた37所社すべてにおいて環境マネジメントシステムの構築を完了させました。各所社では、P(計画)D(実行)C(評価)A(改善)サイクルの実践を通して、システム導入の成果を最大化すべく取り組んでいます。

## 環境管理体制

三井金属グループは、安全環境に係わる最重要事項を審議・決定する場として「安全環境最高会議」を設置しています。環境および安全衛生最高責任者を議長、各事業ラインの長をメンバーとする本会議において決定された方針や行動計画は、環境および安全担当役員の指揮のもと、環境安全統括責任者(保安環境部長)によって各事業本部を経て三井金属グループ各所社へ伝達されます。各所社では、所社長が環境安全管理責任者として決定事項を確実に遂行します。

三井金属グループ環境管理体制組織



## 環境および安全衛生最高責任者メッセージ



現場の課題をしっかりと把握した活動で、  
環境と安全のレベルアップを図ります。

取締役 兼 常務執行役員  
環境および安全衛生最高責任者 平林 豊

地球環境の保全および安全衛生管理は、経営の最重要課題の一つです。当社グループでは、現場巡視や現場従業員との話し合いを重ねることにより、現場の課題を明らかにし、環境・安全対応のレベルアップを図っています。

安全衛生管理については、人と危険源を接触させないことが基本と考え、特に危険な設備については隔離する本質安全化を推進しています。また、従業員の危険への感受性を高め、危険源との接触を防ぐため、体感教育や机上教育、実地指導、パトロールなどを行っています。環境保全については、2012年6月1日の水質汚濁防止法の改定に伴い、より良い管理ができるよう設備の改善を進めております。

私は、2013年6月に環境および安全衛生最高責任者に就任いたしました。地域住民の方々をはじめ様々なステークホルダーの方々とのコミュニケーションを大切にし、より強固な信頼関係を築いてまいりたいと考えています。

## 環境監査

厳格な監査と監査後のフォローで確実な成果を。

環境監査は、生産活動を行っている全45所社を対象に実施しています。監査の頻度は、鉱山や製錬といった環境リスクの高い所社は毎年1回、部品加工などのうち環境リスクが中程度の所社は2年に1回、環境リスクが低い所社は3年に1回となっています。2012年度は計24所社で監査を実施しました。厳格な監査はいうまでもなく、監査後のフォローも重視しています。環境監査は通常2名以上で半日から2日を費やしますが、ISO14001に則った監査、パフォーマンスデータ(排水や排ガスの測定値など)の収集、現場のリスクの確認の他、前回監査時に指摘した事項の対応状況も厳しくチェックしています。各所社は監査で指摘された事項に関して当該年度内に処置を完了させています。

## 環境教育

環境意識を高め、職場で真に役立つ教育を。

三井金属では、従業員一人ひとりの環境意識を高めることが環境活動を促すことにつながると考え、環境法令の遵守に向けた教育を推進。全所社を対象に環境関連法令研修会を本社集合研修として実施しています。

職場で役立つ環境教育にも力を入れています。たとえば各所社の現場担当者(係長、作業長層)を集め、「自身関わっている業務では、どのような法令遵守が求められるのか」、実際の業務に即した研修を行うことで、各種環境関連法令に対する理解を促しています。

## 2012年度の法令研修開催実績

「ものづくり」を語る上で、環境の問題は避けて通れません。環境法令を中心とした環境教育は、「ものづくり」に強い人材を育てることにつながります。2012年度も各所社で研修会を開催。多くの従業員が自己研鑽に取り組みました。



### 環境関連法令研修

東京本社	4月11日	34名	竹原製煉所	9月21日	16名
神岡鉱業	6月1日	16名	上尾研修センター	10月19日	53名
彦島製煉	6月29日	22名	三池製煉	11月22日	23名

## 環境管理への投資と経費

より実効性の高い環境投資に努めています。

費用対効果を考慮し、より効率的な環境投資を行うことで、着実に環境負荷の低減を実現しています。2012年度の環境管理のための経費は33.9億円で、前年比約3.5%の減となりました。環境関連投資は18.1億円で前年比約15.1%の増でした。

環境管理経費額(単位:億円)

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
廃棄物処理委託費用	6.0	4.7	5.7	6.1	5.4
エネルギー費用	5.4	4.7	3.8	5.8	5.2
保修費	4.0	1.6	3.2	3.9	2.9
その他(労務費、物品費など)	27.2	18.4	21.2	19.3	20.4
環境管理経費 計	42.6	29.4	33.9	35.1	33.9

2012年度の主な設備投資内容

神岡鉱業	排水処理施設修繕、溶鉱バグフィルター更新、硫酸工場2系低温熱交更新
八戸製煉	硫酸吸収塔更新、焼結LNG化(点火炉)
竹原製煉所	In湿式工程作業環境改善(電気集塵機など)、排水処理工程の排熱利用
三池製煉	排ガス処理バグフィルター更新、排水処理設備整備
特殊銅箔	純粋処理装置のイオン交換樹脂取替え

環境関連投資の推移(2007年度分~2012年度分)

